

令和 7 年度
北海道大学大学院歯学院（博士課程）

学生募集要項
(第 2 次募集)

一般入試・社会人入試・外国人留学生特別選抜

【注意事項】

・大学院の募集に関する事項は、本募集要項に掲載されています。出願に当たっては、本要項を熟読のうえ手続きを行ってください。

・出願の受理は、

- ① **インターネットでの出願登録**
- ② **検定料の支払い(支払い不要の者を除く)**
- ③ **必要提出書類の郵送**

のすべてを出願期間内に完了していることが確認され、かつ本学院入学試験の出願資格に該当する者についてのみ受理いたします。

・本学院において、志願者が①～③すべての手続きを出願期間内に完了していることが確認できない場合は、出願を受理いたしませんので十分に余裕をもって手続きを行ってください。

最新の入試情報は歯学院の以下のサイト（大学院入試情報）で確認するようにしてください。 <https://www.den.hokudai.ac.jp/graduate>

北海道大学

目 次

北海道大学大学院歯学院志願者の皆さんへ	2
北海道大学大学院歯学院アドミッション・ポリシー	3
1. 専攻・募集人員	4
2. 専修分野・教室・専門科目の試験科目	4
3. 出願資格【一般入試】	4
【社会人入試】・【外国人留学生特別選抜】	5
4. 出願手続	6
(1) 出願期間	6
(2) 出願方法	6
(3) 出願書類及び検定料【一般入試・社会人入試】	8
【外国人留学生特別選抜】	9
5. 選抜方法	10
6. 試験期日及び場所	11
7. 合格者の発表	11
8. 入学手続き等	11
9. 検定料の返還について	12
10. 歯学院における長期履修の取扱について	12
歯学院における2つの養成コースについて	13
選択資格・教育プログラム・課程修了の認定について	14
大学院設置基準第14条による教育方法の特例による教育の実施について	15
個人情報の取扱について	15
研究内容一覧	16

北海道大学大学院歯学院志願者の皆さんへ

北海道大学大学院歯学院

本学院では、大学院生の希望や進路に応じ、きめ細かな指導を行うために、研究テーマ等に関し、入学を志望する方々から事前相談を受け付ける体制をとっております。

つきましては、本学院を志望される方は、**事前に志望する教室の指導教員に研究テーマ等を相談のうえ、出願するようお願いします。**

教員の連絡先が不明の場合は、以下の1～6の全ての事項を記入のうえ、歯学事務部教務担当へe-mailでお問い合わせください。

後日、志望する教室の担当者から連絡を差し上げます。

1. 氏名
2. 卒業大学名
3. 電話番号
4. e-mail アドレス
5. 志望する教室名と指導教員名
6. 研究テーマ等

※必ず全ての項目について記載してください。

※未記入の事項があると、連絡できない場合があります。

<問い合わせ先>

〒060-8586

北海道札幌市北区北13条西7丁目

北海道大学歯学事務部教務担当

TEL：011-706-4204

FAX：011-706-4919

e-mail：kyomu@den.hokudai.ac.jp

北海道大学大学院歯学院 アドミッション・ポリシー

大学院の理念・教育目標

北海道大学大学院歯学院は歯学及び口腔保健医療の発展のため、最新の歯学の学問分野及び研究領域に対応し、かつ歯学に関する教育研究の進歩を担いうる研究者及び教育者の養成並びに専門分野における高度な知識及び歯科医療技術を有する高度専門職業人の育成を行っている。

求める学生像

(1) 基盤系口腔医学コース

学内外を問わず、また歯科医師免許の有無にかかわらず、歯学・生命科学の領域で研究・教育を展開する意欲の高い学生

(2) 先端臨床系口腔医学コース

専門分野における高度な知識と歯科医療技術を身に付けると同時に研究マインドも育て、高度化・専門化する歯科医療に対する社会の要求に応える意欲の高い学生

両コースともに本学院入学前に、歯学部卒業レベルの歯学や歯科医療に関する専門的な知識と技術を身につけておくことが期待される。

入学者選抜の基本方針

博士課程入学試験では、英語の筆記試験と、専門に関する口頭試問と研究能力及び研究課題に取り組む意欲を評価する面接により入学者を選抜する。

特に英語の筆記試験と、専門に関する口頭試問を重視して選抜することとする。

令和7年度 北海道大学大学院 歯学院（博士課程）学生募集要項

1. 専攻・募集人員

専攻	募集区分	募集人員		
		一般入試	社会人入試	外国人留学生特別選抜
口腔医学専攻	第2次	若干名	若干名	若干名

2. 専修分野・教室・専門科目の試験科目

（令和6年6月現在）

専攻	専修分野	教室		専門科目
口腔医学	口腔機能学		口腔機能解剖学	口腔解剖学
			口腔生理学	生理学・口腔生理学
		○	口腔機能補綴学	有床義歯補綴学
		○	冠橋義歯補綴学	冠橋義歯補綴学
		○	歯科矯正学	歯科矯正学
		○	小児・障害者歯科学	小児歯科学
	口腔健康科学		硬組織微細構造学	口腔組織学・同発生学
			口腔分子生化学	生化学・口腔生化学
			生体材料工学	歯科理工学
		○	予防歯科学	予防歯科学
			歯科保存学	保存修復学
		○	歯周病学	歯周病学
		○	高齢者歯科学	高齢者歯科学
		○	口腔総合治療学	総合歯科学
	口腔病態学		血管生物分子病理学	病理学・口腔病理学
			微生物学	細菌学・口腔細菌学
			薬理学	薬理学・歯科薬理学
		○	口腔診断内科学	口腔内科学
		○	口腔顎顔面外科学	口腔外科学
		○	放射線学	歯科放射線学
		○	歯科麻酔学	歯科麻酔学
	顎機能医療学		顎咬合学	注1
			顎口腔機能改善学	口腔インプラント学
			顎口腔形成学	口腔外科学又は歯科矯正学

○印は、「基盤系口腔医学コース」に加え、「先端臨床系口腔医学コース」を設置している教室。
（社会人学生、及び外国人留学生は先端臨床系口腔医学コースを選択できません。13～14頁参照。）
注1）口腔外科学，口腔内科学，有床義歯補綴学及び冠橋義歯補綴学から1科目出題する。

3. 出願資格

【一般入試】

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学における医学，歯学又は修業年限6年の獣医学若しくは薬学を履修する課程（以下「歯学等の課程」という。）を卒業した者又は令和7年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 外国において，学校教育における18年の課程（最終の課程は歯学等の課程）を修了した者又は令和7年3月31日までに修了見込みの者

- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程(最終の課程は歯学等の課程)を修了した者又は令和7年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程(最終の課程は歯学等の課程)を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和7年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が5年以上である医学、歯学、獣医学又は薬学を履修する課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって(4)の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和7年3月31日までに学位を授与される見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者(下記の【注記】参照)
- (7) 大学(歯学等の課程に限る。)に4年以上在学し、又は外国において学校教育における16年の課程(歯学等の課程を含むものに限る。)、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程(歯学等の課程を含むものに限る。)若しくは我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程(歯学等の課程を含むものに限る。)を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、本学院において、本学における所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めた者
- (8) 本学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和7年3月31日までに24歳に達するもの

【注記】文部科学大臣の指定した者(昭和30年文部省告示第39号)

- (ア) 旧大学令による大学の歯学又は医学の学部において歯学又は医学を履修し、これらの学部を卒業した者
- (イ) 防衛省設置法による防衛医科大学校を卒業した者又は令和7年3月31日までに卒業見込みの者
- (ウ) 修士課程又は学校教育法第99条第2項の専門職大学院の課程を修了した者(令和7年3月修了見込みの者を含む)並びに前期及び後期の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者で本学院において、大学の歯学等の課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- (エ) 大学(歯学等の課程を除く)を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本学院において、当該研究の成果等により、大学の歯学等の課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

【社会人入試】

上記【一般入試】各号のいずれかに該当し、本学院入学時にすでに就業しているか、または入学後に就業することが見込まれる者

【外国人留学生特別選抜】

入学試験を受験するために来日することが困難な外国人で、かつ、志望する教室の指導教員の推薦書により能力・学力があると保証された者で、上記【一般入試】各号のいずれかに該当する者

備 考

- ① 出願資格(4)、(5)、(6)、(7)及び(8)により出願しようとする者は、事前審査を必要とするので、令和7年1月14日(火)までに必要書類を添えて歯学事務部教務担当へ申し出ること。
- ② 外国人留学生特別選抜に出願する者は、令和7年1月14日(火)までに歯学事務部教務担当へ申し出てください。

4. 出 願 手 続

(1) 出 願 期 間

2次募集	令和7年2月3日（月） ～ 令和7年2月13日（木）
------	----------------------------

(2) 出 願 方 法

出願手続は、①インターネットでの出願登録、②検定料の支払い（支払い不要の者を除く）、③必要提出書類の郵送のすべてが出願期間内に完了（到着）していることが確認されたもので、本学院入学試験の出願資格に該当する者についてのみ受理します。

インターネットで出願登録をおこなっただけでは手続完了となりませんのでご注意ください。

①インターネットでの出願登録

1)	北海道大学大学院歯学院のホームページ (https://www.den.hokudai.ac.jp/) よりインターネット出願サイト (https://e-apply.jp/e/hokudai-den/) にアクセスしてください。 注1) 事前に操作手順や注意事項を必ず確認してください。 注2) 本サイト利用にあたり、必要書類の出力、申込み及び入学検定料支払いの完了メールの通知を受信するため、プリンター及びメールアドレスが必要となります。必ず事前にプリンター及びメールアドレス（携帯電話のメールアドレスは不可）を用意してください。
2)	画面のガイダンスに従い必要事項を選択、入力してください。
3)	必要事項の入力が正常に完了すると、登録されたメールアドレス宛に「出願完了メール」が届きます。

②検定料（30,000 円）の支払い

1)	インターネット出願後に表示される支払手続き画面に従い、支払手続きを行ってください。次のⅠ、ⅡまたはⅢのいずれかの方法により支払ってください。 普通為替や現金では受理できないので、注意してください。 <u>Ⅰ. クレジットカードによる支払い</u> (VISA, MasterCard, JCB, AMERICAN EXPRESS 等) 「カード番号」「有効期限」「カード名義」「セキュリティコード」を入力してください。 <u>Ⅱ. Pay-easy（銀行 ATM, ゆうちょ銀行 ATM, ネットバンキング）, コンビニエンスストア, ジャパンネット銀行, イーバンク銀行による支払い</u> 【Pay-easy の場合】 支払機関選択後に発行される「収納機関番号」「お客様番号」「確認番号」を必ずメモし、Pay-easy 対応 ATM で支払ってください。 【コンビニエンスストアの場合】 支払機関選択後に発行される「お客様番号」「確認番号」又は「オンライン決済番号」を必ずメモし、コンビニエンスストアで支払ってください。 <u>（ローソン, ファミリーマート, デイリーヤマザキにて利用可能です）</u> 【ジャパンネット銀行, 楽天銀行の場合】 画面の説明に従い支払ってください。
----	---

	Ⅲ. 中国銀聯ネット決済 (ChinaPay) による支払い 各銀行の支払い画面にて、「銀行口座番号」「有効期限」「パスワード」などの支払い情報を入力し支払ってください。
2)	支払機関により支払に必要な情報や方法が異なりますので、画面の説明を必ず確認してください。 支払い後に受け取るお客様控え又は支払完了通知メールを印刷したものは、本人の控えとして大切に保管してください。必要に応じて提出を求めることがあります。

③必要提出書類の郵送

1)	インターネット出願後に作成される願書等及びその他出願に必要な書類（8～10頁参照）を封筒に入れ、願書と一緒に印刷される宛名ラベルを封筒に貼り、封筒表面に「大学院歯学院入学願書在中」と朱書のうえ、必ず「書留」扱いにし発送してください（出願期間内必着）。 〈 出願書類の提出先 〉 〒060-8586 札幌市北区北13条西7丁目 北海道大学歯学事務部教務担当 （TEL：011-706-4204） 窓口に直接提出書類を持参する場合は、以下のとおりです。 受付時間：午前9時から午後5時まで（土曜・日曜・祝日を除く） 受付場所：北海道大学歯学事務部教務担当窓口
2)	全ての書類が本学に到着した時点をもって出願手続完了となります。 インターネットで出願登録を行っただけでは出願手続完了となりませんので、ご注意ください。 注）出願期間後に到着した出願書類は受理しませんので、郵便事情等を考慮して余裕をもって発送してください。なお、必要に応じて「速達書留」扱いにしてください。

インターネット出願に関する問い合わせ

（１）問い合わせ方法

お電話で受け付けます。

（２）問い合わせ先

「学び・教育」出願・申込サービスサポートセンター

電 話：0120-708898（平日10時～18時）

※上記フリーダイヤルが利用できない方

03-5804-5515（平日 10 時～18 時）

(3) 出願書類及び検定料

【一般入試・社会人入試】

一般入試に出願する者は、次に掲げる①～⑦の書類を、社会人入試に出願する者は、次に掲げる①～⑨の書類を準備し、出願期間内に提出してください。⑩～⑫は該当する場合提出してください。

① 入学願書	インターネット出願サイトにて、必要事項の入力後に作成される願書をA4版で印刷のうえ提出すること。
② 受験票及び写真票	インターネット出願サイトにて、願書と一緒に印刷される写真票に、出願前3か月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向きの写真（縦4cm×横3cm）を所定の欄に貼ること。なお、写真の裏には、氏名を記入すること。
③ 成績証明書	出身大学(学部)長の発行するもので厳封したもの。 ただし、本学部卒業(見込)者は不要。 大学院修士課程の修了(見込)者は、修士課程の成績証明書も提出すること。 証明書の原本が日本語又は英語以外の言語で書かれている場合は、当該言語で書かれた証明書の原本」と「公的な和訳又は英訳の原本」の両方を添付すること。
④ 卒業(見込) 修了(見込) 証明書	出身大学長又は学部長の発行する卒業(見込)証明書。 ただし、本学部卒業(見込)者は不要。 証明書の原本が日本語又は英語以外の言語で書かれている場合は、当該言語で書かれた証明書の原本」と「公的な和訳又は英訳の原本」の両方を添付すること。 中国(台湾、香港、マカオを除く)の大学を卒業(修了)、または卒業(修了)見込みの者は、卒業(修了)(見込)証明書に加えて、以下の書類を提出すること。 ・既卒者…a 学歴証書電子登録票(教育部学历证书电子注册备案表)(英語版) b 所属大学の原本証明を受けた卒業証書(毕业证书)及び学位証書(学位证书)の写し ・卒業(修了)見込者… a オンライン在籍認証レポート(教育部学籍在线验证报告)(英語版) 上記のうち、書類 a は中国教育部認証システム (中国高等教育学历证书查询 https://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp)より取得してください。 また、提出時点で Web 認証の有効期限が15日以上残っていることを確認してください。
⑤ 志望理由書	インターネット出願サイトよりダウンロードし、A4版で印刷のうえ、 <u>英文で作成</u> 、提出すること。
⑥ 検定料	30,000 円 (本学大学院修士課程修了見込の者で、引き続き本学院を受験する場合は不要) 納入方法は、6～7頁参照。
⑦ 受験票送付 返信用封筒	長型3号封筒(A4用紙が三つ折りで入る封筒)に宛先(郵便番号を含む)を明記し、410円切手(速達料を含む。)を貼ったもの。 ※教室宛に送付を希望する場合は切手不要

⑧ 受験承諾書	【社会人入試出願者のみ】 出願時に在職中、または就業見込の者は、当該所属長の受験承諾書を提出すること。 様式については、インターネット出願サイトよりダウンロードし、A4版で印刷のうえ、作成すること。
⑨ 就業(見込)証明書	【社会人入試出願者のみ】 所属長が発行したものを提出すること。 様式については、インターネット出願サイトよりダウンロードし、A4版で印刷のうえ、作成すること。
⑩ 在留カード	【外国人出願者のみ】 在留カードのコピーを提出すること。本邦外に居住する外国人で在留カードを所持していない場合は、代わりにパスポートのコピーを提出すること。
⑪ TOEFL, TOEIC, IELTSのスコアシートのコピー	【任意提出ですが、スコアを持っている方は可能な限り提出してください。】 提出可能なスコアシートは以下のとおり。 (1) TOEFL-iBT (Home Editionを除く。) 又はTOEFL-ITP (試験実施日から3年以内に受験したもの) (2) TOEIC Listening & Reading Test (IPテストを含む。Bridge, S&W, Speakingは不可)のスコア (試験実施日から3年以内に受験したもの) (3) IELTS Academic (試験実施日から3年以内に受験したもの)
⑫ 研究業績目録	【任意提出】 様式任意 研究業績等がある場合は提出することができる。

※1 出願書類の提出先については、7頁を参照

※2 入学後、履歴中に虚偽の事項を記載し又は当然記載すべき事項を記入しなかったことが判明した場合は、入学を取り消すことがあります。

※3 検定料の返還については、12頁を参照。

※4 TOEFL, TOEICまたはIELTSスコアによって外国語試験を免除することがあります。免除の有無については、受験票発送時に通知します。

【外国人留学生特別選抜】

次に掲げる書類等を準備し、出願期間内に提出してください。

⑨については、受け入れ予定教員に依頼してください。

① 入学願書	インターネット出願サイトにて、必要事項の入力後に作成される願書をA4版で印刷のうえ提出すること。
② 受験票及び写真票	インターネット出願サイトにて、願書と一緒に印刷される写真票に、出願前3か月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向きの写真(縦4cm×横3cm)を所定の欄に貼ること。なお、写真の裏には、氏名を記入すること。
③ 成績証明書	出身大学(学部)長の発行するもので厳封したもの。 ただし、本学部卒業(見込)者は不要。 大学院修士課程の修了(見込)者は、修士課程の成績証明書も提出すること。 証明書の原本が日本語又は英語以外の言語で書かれている場合は、当該言語で書かれた証明書の原本と「公的な和訳又は英訳の原本」の両方を添付すること。

④ 卒業(見込) 修了(見込) 証 明 書	出身大学長又は学部長の発行する卒業（見込）証明書。 ただし、本学部卒業(見込)者は不要。 証明書の原本が日本語又は英語以外の言語で書かれている場合は、当該言語で書かれた証明書の原本」と「公的な和訳又は英訳の原本」の両方を添付すること。 中国（台湾，香港，マカオを除く）の大学を卒業（修了），または卒業（修了）見込みの者は，卒業（修了）（見込）証明書に加えて，以下の書類を提出すること。 ・既卒者…a 学歴証書電子登録票（教育部学历证书电子注册备案表）（英語版） b 所属大学の原本証明を受けた卒業証書（毕业证书）及び学位証書（学位证书）の写し ・卒業（修了）見込者… a オンライン在籍認証レポート（教育部学籍在线验证报告）（英語版） 上記のうち，書類 a は中国教育部認証システム （中国高等教育学历证书查询https://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp） より取得してください。 また，提出時点で Web 認証の有効期限が15日以上残っていることを確認してください。
⑤ 志望理由書	インターネット出願サイトよりダウンロードし，A 4 版で印刷のうえ， <u>英文で作成</u> ，提出すること。
⑥ 検 定 料	30,000 円 （本学大学院修士課程修了見込の者で，引き続き本学院を受験する場合は不要） 納入方法は，6～7 頁参照。
⑦ TOEFL, TOEIC, IELTS のスコア シートのコピー	試験実施日から 3 年以内に受験した以下のいずれかの試験のスコアシートのコピーを提出してください。 （1）TOEFL-iBT（Home Editionを除く。）又はTOEFL-ITP （2）TOEIC Listening & Reading Test（IPテストを含む。Bridge, S&W, Speakingは不可）のスコア （3）IELTS Academic
⑧ パスポートの 写し	
⑨ 受入予定教員の 推薦書	様式任意 受入予定教員に作成してもらい，出願期間中に直接歯学事務部教務担当に提出してもらうように依頼すること。
⑩ 研究業績目録	【任意提出】 様式任意 研究業績等がある場合は提出することができる。

※ 1 出願書類の提出先については，7 頁を参照

※ 2 入学後，履歴中に虚偽の事項を記載し又は当然記載すべき事項を記入しなかったことが判明した場合は，入学を取り消すことがあります。

※ 3 検定料の返還については，12 頁を参照。

5. 選抜方法

【一般入試・社会人入試】

入学願書・履歴書，最終出身学校等の学業成績証明書，志望理由書等の出願書類の内容，学力検

査(外国語, 専門科目)及び面接試験の結果を総合して判定します。

- (1) 外国語試験(英語) : 辞書の持込みは可としますが, 電子機器の使用は認めません。
(2) 専門科目(口頭試問) : 志望する教室ごとに行います。

※TOEFL, TOEICまたはIELTSスコアによって外国語試験を免除することがあります。

外国語試験を免除された受験者は, 専門科目(口頭試問)及び面接試験のみ受験してください。

【外国人留学生特別選抜】

入学願書・履歴書, 最終出身学校等の学業成績証明書, 外部英語試験のスコア, 指導予定教員からの推薦書, 志望理由書等の出願書類の内容, 学力検査(専門科目)及び面接試験を総合して判定します。

なお, 学力検査(専門科目)及び面接試験はオンラインで実施します。

6. 試験期日及び場所

【一般入試・社会人入試】

試 験 日	区 分	時 間	場 所
令和7年 3月2日(日)	外国語(英語)	10:00~11:50	本学大学院 歯学院
	専門科目(口頭試問)	13:00~	
	面接試験	専門科目終了後	

【外国人留学生特別選抜】

試 験 日	区 分	時 間
令和7年3月2日(日)	専門科目(口頭試問)	後日連絡
	面接試験	後日連絡

※オンラインの実施方法等の詳細については, 後日志願者に個別にお知らせします。

7. 合格者の発表

令和7年3月7日(金) 午前9時

本学大学院歯学院玄関ホールに掲示します。なお, 本人宛にも郵送で通知します。

8. 入学手続等

入学科 : 282,000円(予定額)

※本学大学院修士課程修了見込の者で, 引き続き本学院へ入学する場合は不要。

授業料 : 前期分 267,900円(年額 535,800円)(予定額)

注) 上記の納付金は予定額であり, 入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には, 改定時から新たな納付金が適用されます。

9. 検定料の返還について

出願書類を受理した後は、次の（１）の場合を除き、いかなる理由があっても払込済の検定料は返還しません。

（１）検定料の返還ができるもの

- ① 検定料を払い込んだが北海道大学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった、または出願が受理されなかった）場合
- ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

（２）返還請求の方法

①返還請求の理由 ②氏名（ふりがな） ③現住所 ④連絡電話番号 ⑤返還先の銀行名・支店名・口座種別・口座番号・口座名義（ふりがな）を明記した検定料返還請求書（様式任意）を作成し、必ず「検定料受付証明書」を添付して、歯学事務部教務担当へ速やかに郵送してください。

なお、払戻しには相当の日数がかかるのでご了承ください。

出願が受理されなかった場合については、本学から別途返還に必要な書類を郵送します。

10. 歯学院における長期履修の取扱いについて

本学院では、長期履修制度（通常４年間で課程を修了するが、職業を有している等の事情により標準修業年限（４年間）を超えて一定の期間（最高２年）延長することができる制度）を実施しています。

長期履修を希望する者は、指導予定教員とあらかじめ十分に相談のうえ申請願います。申請を希望される方は、必ず出願前に教務担当へ申し出願願います。

令和６年12月

大学院歯学院における2つの養成コースについて

近年、医療系大学院に対して、従来からの研究者・教育者の養成に加えて、業務に必要な能力と研究マインドを持った高度専門職業人を養成することが求められるようになってきたため、本学院では「基盤系口腔医学コース」に加え、「先端臨床系口腔医学コース」を設置している。

【基盤系口腔医学コース】

(1) 教育研究目標

研究者・教育者として自立するに必要な教育研究能力を涵養し、歯学・歯科医療における特定の分野についての深い研究や高度な教育を行う人材を養成することを目指す。

(2) 教育内容

歯学・生命科学等の領域で、研究者・教育者として将来自立できる幅広い専門的知識と、研究に必要な実験のデザインなどの研究手法や研究遂行能力、教育指導能力を修得させる。

【先端臨床系口腔医学コース】(社会人学生、外国人留学生は、選択できません。)

(1) 教育研究目標

高度専門職業人としての歯科医師に必要な幅広い専門的知識・臨床能力と問題解決のための研究マインドを持った歯科医師を養成する。特に臨床面において、大学院修了後に専攻した各専門領域における認定専門医資格を最短期間で取得できる専門的知識と臨床能力を持った歯科医師を養成することを目指す。

(2) 教育内容

歯科医療・福祉等の分野で、専門医あるいは高度専門職業人としての歯科医師に必要な幅広い専門的知識と臨床能力、ならびに臨床研究の遂行に必要な研究手法や能力を修得させる。そのため、このコースを選択した大学院生には、資格取得に必要な症例を優先的に配当することとしている。

先端臨床系口腔医学コースを設定する専修分野・教室

専修分野	教 室	学会認定専門医	1 学年の 募集人数
口腔 機能学	口腔機能補綴学	日本補綴歯科学会認定補綴歯科専門医	2 ～ 3
	冠橋義歯補綴学	日本補綴歯科学会認定補綴歯科専門医 日本口腔インプラント学会専門医	1 ～ 2
	歯科矯正学	日本矯正歯科学会認定医・同学会臨床指導医	3 ～ 4
	小児・障害者歯科学	日本小児歯科学会認定「小児歯科専門医」 日本障害者歯科学会認定医	1 ～ 2
口腔 健康 科学	予防歯科学	日本口腔衛生学会認定医	1 ～ 2
	歯周病学	日本歯周病学会「歯周病専門医」 日本歯科保存学会認定保存治療専門医	2 ～ 3
	高齢者歯科学	日本老年歯科医学会認定老年歯科専門医	2 ～ 3
	口腔総合治療学	日本歯科保存学会認定 歯科保存治療専門医	1 ～ 2
口腔 病態学	口腔診断内科学	日本口腔外科学会認定「口腔外科専門医」	2 ～ 3
	口腔顎顔面外科学	日本口腔外科学会認定「口腔外科専門医」	2 ～ 3
	放射線学	日本歯科放射線学会認定「歯科放射線認定医」	1 ～ 2
	歯科麻酔学	日本歯科麻酔学会認定「歯科麻酔専門医」	1 ～ 2

※厚生労働省により広告が可能と認定された資格名を「 」で明記。

選択資格・教育プログラム・課程修了の認定について

		基盤系口腔医学コース	先端臨床系口腔医学コース
選択資格		全ての大学院学生	日本の歯科医師免許を有する者 ※社会人学生、及び外国人留学生は 先端臨床系口腔医学コースを選択できない。
教育プログラム	特 徴	研究遂行能力及び教育指導能力の養成	歯科医療分野の専門的知識及び臨床研究能力の養成
	必修・選択必修の授業科目 ()は必要 修得単位数	歯学研究概論 (2) 歯学研究基本技法 (2) 発表・論文執筆法演習Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ (4) 歯学研究専門技法 (4) 歯学研究セミナー (2) 専修科目 (2) 研究科目 (15)	歯学研究概論 (2) 発表・論文執筆法演習Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ (4) 歯学研究セミナー (2) 専修科目 (2) 研究科目 (5) 臨床実習科目 (15) ※
	選択科目	臨床実習科目※ 教育実習技法 アカデミックイングリッシュ	歯学研究基本技法 歯学研究専門技法 教育実習技法 アカデミックイングリッシュ
課程修了の認定		・上記「必修・選択必修の授業科目」 必要単位数 (31 単位以上) を修得 ・学位論文を提出し審査に合格	・上記「必修・選択必修の授業科目」 必要単位数 (30 単位以上) を修得 ・学位論文を提出し審査に合格

各教室における教育プログラムについて、1 年次は基本的に両コースとも共通であり、2 年次以降にそれぞれのコースに適した教育プログラムが組まれる。

※授業科目の中で、臨床実習科目の履修を希望する者については、日本の歯科医師（又は医師）免許証を有していなければならない。

2 つのコースは、在学期間中一度に限りコースを変更することができる。
詳しくは、歯学事務部教務担当へ問い合わせること。

大学院設置基準第14条による教育方法の特例による教育の実施について

歯学院のカリキュラムは、学生が自らの目的に応じて自主的にカリキュラムを組み、必要な科目を体系的に履修することにより、各々の学習目標を達成することができるよう工夫されています。

本学院では、社会人が在職のまま大学院に進学し、高度な口腔医学教育を受けることが可能となるように、大学院設置基準第14条による教育方法の特例を適用し、歯学院共通科目を年数回の開講日に分け、集中的に履修出来るように開講しています。

これ以外にも土・日曜日、夏季休暇等を利用した集中講義等を行うなど、履修者の利便性に配慮して柔軟に運用することになっています。

但し、大学院臨床実習科目については、北海道大学病院で行う実習のため、この授業科目を選択する場合には、第1時限～第4時限(8:45～16:15)に受講しなければなりません。

また、大学院共通必修科目のうち、歯学研究概論については1年次に履修することが望ましいですが、それ以外の授業科目については、大学院在学中のいずれの期でも履修可能です(隔年開講科目を除く)。

履修方法・研究指導・学位論文等についても、指導教員との間で十分に相談する必要があります。授業の前後、土・日曜日、夏季休暇等を利用した集中講義の前後及び電話やFAX、電子メール等を活用してください。

(参考)【大学院設置基準】

第14条 大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

個人情報の取扱いについて

- (1) 本学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人北海道大学個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。
- (2) 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜、②合格発表、③入学手続き、④入学者選抜方法等における調査・研究、及び⑤これらに付随する業務を行うために利用します。
- (3) 各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学から当該業務の委託を受けた業者(以下「受託業者」という。)において行うことがあります。業務委託に当たり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、お知らせいただいた個人情報の全部又は一部が提供されます。
- (4) 出願に当たってお知らせいただいた個人情報は、合格者についてのみ、入学後の①教務関係(学籍、修学指導等)、②学生支援関係(健康管理、奨学金申請等)、③就職支援関係、④授業料等に関する業務を行うために利用します。
- (5) (4)の個人情報のうち、氏名、住所に限って、安全確保の措置を講じた上で、北大フロンティア基金、本学関連団体である①北海道大学体育会(歯学部公認団体含む)、②北海道大学歯学部同窓会、③北海道大学校友会エルムからの連絡を行うために利用する場合があります。

研 究 内 容 一 覧

口腔機能学専修

(令和6年4月現在)

教 室 名	指 導 教 員	主 た る 研 究 内 容
口腔機能解剖学	教 授 高 橋 茂	1. 唾液腺萎縮メカニズムの病理組織学的解析
		2. 唾液腺組織再生に関する研究
		3. ソフトフード摂取が口腔諸組織に与える影響について
口腔生理学	教 授 舩 橋 誠	1. 摂食行動の調節メカニズムに関する神経生理学的研究
		2. 悪心・嘔吐の中枢機構に関する研究
		3. 脳機能に関する電気生理学的研究
	准教授 乾 賢	1. 味覚の脳内メカニズムに関する研究
		2. 味のおいしさ・まずさに関する研究
		3. 神経性食欲不振症の中枢神経機序に関する研究
口腔機能補綴学	教 授 坂 口 究	1. 顎口腔機能と全身機能との関連性
		2. 生体人工材料(インプラントを含む)の利用による咀嚼機能回復
		3. 生体材料(インプラントを含む)の開発と生体反応の解明
	准教授 高 山 芳 幸	1. 有床義歯およびデンタルインプラントに関する力学的解析
		2. 補綴治療の予後と効果に関する臨床的研究
		3. カーボンナノ物質の生体材料への応用
冠橋義歯補綴学	教 授 黒 嶋 伸一郎	1. 薬剤関連顎骨壊死の病院病態解明と治療法開発に関する基礎的・臨床的研究
		2. 幹細胞と生命情報科学を基盤とした難治性疾患治療法開発研究
		3. 新規人工材料・生体材料の開発研究
	准教授 上 田 康 夫	1. AM(付加製造/3Dプリンティング)の医療への応用に関する研究
		2. 歯科CAD/CAMシステムに関する研究
		3. 顎顔面補綴に関する臨床的研究
歯科矯正学	教 授 佐 藤 嘉 晃	1. 機械的刺激による組織改変現象の機構およびその加齢変化に関する研究
		2. 頭蓋顎顔面領域の成長発育に関する研究
		3. 咀嚼、嚥下、発音などの顎口腔機能に関する基礎的および臨床的研究
		4. 矯正用歯科材料の開発
		5. 顎変形症、顎機能異常患者の診断および治療法に関する研究
		6. 唇顎口蓋裂や他の先天異常を有する患者の治療法に関する臨床研究
		7. 顔や笑顔の認識に関する研究
		8. 歯の移植に関する研究
		9. エコチル調査
小児・障害者歯科学	教 授 八 若 保 孝	1. 乳歯の生理的歯根吸収に関する研究
		2. 病的歯根吸収とそれに伴う修復機構に関する研究
		3. 乳歯列の咬合異常に関する研究
	特任准教授 吉 原 俊 博	1. 規則的摂食が中枢神経系に与える影響に関する研究
		2. 咬合の不調和とストレス反応性に関する研究
		3. 母子分離が中枢神経系に与える影響に関する研究

口腔健康科学専修

教室名	指導教員	主たる研究内容
硬組織微細構造学	教授 網 塚 憲 生	1. 骨代謝調節因子の作用機序における細胞生物学的研究
		2. 骨の発生・再生における細胞学的・遺伝子工学的研究
		3. 骨の細胞の構造・機能における形態学的・分子生物学的研究
	准教授 長谷川 智 香	1. 骨・血管連関における骨代謝調節機構の解明
		2. 骨と腎臓の細胞相互作用における形態学的・生物学的検索
		3. 局所ミネラル調節機構と基質石灰化に関する形態学的・細胞生物学的研究
口腔分子生化学	准教授 田 村 潔 美	1. 血管新生調節の分子機構に関する研究
		2. 血管新生の制御方法の開発研究
		3. 血管制御による組織再生・疾患治療に関する研究
生体材料工学	教授 吉 田 靖 弘	1. 新しい歯科材料・生体材料の開発
		2. 生体／材料界面のナノ制御による硬組織の機能的再建
		3. 歯科材料・機械実用化のための橋渡し研究
	准教授 赤 坂 司	1. マイクロ・ナノパターン化材料のバイオ応用
		2. カーボンナノチューブ機能化によるバイオ応用
		3. ナノテクノロジーの歯科領域への導入
予防歯科学	教授 岩 崎 正 則	1. 口腔の健康・機能と栄養・全身の関連についての疫学研究
		2. 歯周病と全身疾患（腎臓病、骨粗鬆症など）の関連についての疫学研究
		3. 口腔の健康と腸内細菌叢の関連（国際共同研究）
		4. 口腔の健康とウェルビーイングに関する疫学研究（機械学習）
	准教授 高 橋 大 郎	1. 日本人の乳歯萌出傾向についての疫学研究
		2. 有病者の口腔機能管理に関する研究
		3. 歯周組織再生に関する実験的研究
歯科保存学	教授 友 清 淳	1. 幹細胞を応用した歯周組織再生研究
		2. 歯根膜を有するパイオインプラントの創出研究
		3. Mineral trioxide aggregate に対する根管治療薬の作用
	准教授 ヤマウチ モニカ	1. 象牙質接着の長期耐久性
		2. 生体機能性材料と歯質間の相互作用
		3. 変化した歯質の研究（エナメル質減形成、う蝕罹患組織、エナメル質形成不全）
歯周病学	特任教授 菅 谷 勉	1. 歯内・歯周疾患および外傷による歯周組織破壊の研究
		2. 生体機能性材料と歯質間の相互作用
		3. 難治性根尖性歯周炎の治療法
高齢者歯科学	教授 山 崎 裕	1. 高齢者の口腔機能向上に関する研究
		2. 高齢者の口腔健康科学に関するフィールド研究
		3. 高齢者の歯科心身医学に関する研究
	准教授 渡 邊 裕	1. 高齢者の口腔機能と全身の健康に関する研究
		2. 高齢者の口腔機能向上に関するフィールド研究
		3. 口腔管理チームアプローチシステムに関する研究

講 座 名	教 員 名	主 た る 研 究 内 容
口腔総合治療学	教 授 宮 治 裕 史	1. 口腔総合治療技術の開発研究と社会実装に向けた橋渡し研究
		2. 口腔再生治療に関する研究
		3. 歯科医学臨床教育に関する研究
	准教授 松 井 雄一郎	1. 手掌線維腫症（デュピュイトラン拘縮）における線維化抑制効果の検討
		2. 人工手関節に関する臨床及び基礎的研究
		3. 絞扼性末梢神経障害における神経内の血行動態および形態変化の解析

口腔病態学専修

教 室 名	指 導 教 員	主 た る 研 究 内 容
血管生物分子病理学	教 授 樋 田 京 子	1. 腫瘍血管内皮細胞の異常性解明と治療法開発
		2. がん微小環境とがん悪性化のメカニズムの解明
		3. 幹細胞様血管内皮細胞ならびにがん幹細胞
		4. 感染症における血管病態
微生物学	教 授 長谷部 晃	1. 口腔微生物が腸内細菌叢に及ぼす影響
		2. 歯周病原細菌が口腔がん細胞に及ぼす影響
		3. 多発性遺伝子を用いた免疫細胞の分子生物学的機能解析
	特任准教授 安 田 元 昭 (医理工学院)	1. 腫瘍溶解ウイルスの臨床応用
		2. ヒトアデノウィルス初期遺伝子産物の解析
		3. ヒトパピローマウィルスの初期遺伝子産物の機能解析
薬理学	教 授 飯 村 忠 浩	1. 骨代謝改善治療薬の育薬創薬研究
		2. 骨格系の発生・維持・疾患の病態生理学的研究
		3. 骨格性疼痛の病態解明と育薬創薬研究
	准教授 吉 村 善 隆	1. 骨芽細胞と破骨細胞の相互作用に関する研究 2. 骨と歯周組織の細胞におけるメカニカルストレスの影響
口腔診断内科学	教 授 宮 本 郁 也	1. 骨造成に関する基礎的および臨床的研究 2. 歯科インプラントに関する基礎的および臨床的研究 3. 内視鏡を用いた口腔粘膜疾患の基礎的および臨床的研究
	准教授 佐 藤 淳	1. 口腔顎顔面痛の臨床的研究 2. 口腔癌に対する PET 診断に基づいた診断・治療に関する臨床的研究 3. 唾液を利用した口腔粘膜難治性疾患の診断・治療に関する研究
口腔顎顔面外科学	教 授 大 廣 洋 一	1. 口腔癌に関する基礎的ならびに臨床的研究 2. 歯源性腫瘍・エナメル上皮腫の反復処置法に関する研究 3. 口腔癌術後患者ならびに高齢者の摂食・嚥下機能に関する研究 4. 顎骨の再生に関する研究
	准教授 足 利 雄 一	1. 口腔癌に関する臨床的研究 2. 顎顔面領域におけるコンピューター支援下手術の応用に関する研究 3. 骨格性咬合異常の形態的・機能的改善に関する研究 4. 口腔癌の光免疫療法に関する臨床的研究
放射線学	教 授 箕 輪 和 行	1. 顎顔面領域の画像診断に関する研究 2. 口腔領域の悪性腫瘍に対する放射線治療に関する臨床的研究 3. 口腔癌に関連する分子生物学的研究 4. 放射線防護に関する研究 5. AI に関する研究

教 室 名	指 導 教 員	主 た る 研 究 内 容
歯科麻酔学	教 授 城 戸 幹 太	1. 術後痛に関する基礎的および臨床的研究
		2. 歯科手術に関連した心血管系および内分泌系の変化に関する研究
		3. 三叉神経刺激が自律神経系に及ぼす影響に関する研究
		4. 障害者における歯科治療時の麻酔管理方法に関する研究
		5. 全身麻酔薬の作用機序に関する研究

顎機能医療学

教 室 名	指 導 教 員	主 た る 研 究 内 容
顎咬合学	准教授 根 岸 淳	1. 顎関節症の診断, 治療法に関する臨床的研究
		2. 睡眠時無呼吸症候群に関する臨床的研究
		3. 口腔顔面痛に関する臨床的研究
顎口腔機能改善学	(未 定)	
顎口腔形成学	准教授 松 下 和 裕	1. 顎発育を考慮した口唇口蓋裂治療に関する研究
		2. 術後安定性を重視した顎変形症治療に関する研究
		3. 機能の獲得を目指した口蓋裂・顎変形症の一貫した治療に関する研究

国際教育研究部※

講 座 名	教 員 名	主 た る 研 究 内 容
国際教育研究部	准教授 有 馬 太 郎	1. 顎関節症診断法・治療法に関する研究
		2. 咀嚼筋運動と疼痛, 精神心理因子の関係に関する研究
		3. 顎口腔機能の神経可塑性に関する研究

デンタルイノベーション部※

講 座 名	教 員 名	主 た る 研 究 内 容
デンタルイノベーション部	准教授 林 宏 至	1. 医薬品・医療機器開発に関する研究
		2. 医師主導臨床試験の計画立案に関する支援
		3. 外部資金獲得のための戦略構築

※国際教育研究部及びデンタルイノベーション部での研究指導を希望する場合は, 出願前に歯学事務部教務担当に相談すること。